

第30回都市公園コンクール（一社）日本公園緑地協会会長賞 受賞作品の概要

設計部門（大規模）

受賞作品：国営木曾三川公園フラワーパーク江南
（江南花卉園芸公園）

公 園：国営木曾三川公園 江南花卉園芸公園

所 在 地：愛知県江南市

受賞団体：株式会社プレック研究所



協働参加で育む、暮らし提案型のフラワーパークの創出をテーマに、木曾三川公園の地形や立地特性を活かし、堤体と一体となったダイナミックな花の景の創出や、市民花壇エリアを大規模に設けるとともに、作業のバックヤードも充実させて、協働する県民の力を十二分に発揮できる場となるよう設計されたことが評価された。

造園施工部門（大規模）

受賞作品：（仮称）練馬区立日本銀行石神井運動場
跡地公園整備工事

公 園：練馬区立石神井松の風文化公園

所 在 地：東京都練馬区

受賞団体：アゴラ・小関・勝楽建設共同企業体



日本銀行の運動場跡地を「石神井地域にふさわしい、より魅力のある公園をめざす」をテーマとした練馬区立の公園とする再整備工事である。光波トータルステーションを用いた測量により発生土の現場内処理や構造物の精度の高い位置だしにより工事の手戻りをなくすなど確実な工程管理がなされたことなどが評価された。

管理運営部門

受賞作品：公園ボランティア『飛鳥里山クラブ』
20年の軌跡と成果

公 園：国営飛鳥歴史公園

所 在 地：奈良県高市郡明日香村

受賞団体：一般財団法人公園財団
飛鳥里山クラブ



一般財団法人公園財団飛鳥管理センターが事務局を担う『飛鳥里山クラブ』を平成7年に設立するとともに、より効率的・効果的な公園運営が実施されるよう体制や仕組みを整えてきた。飛鳥を訪れる多くのお客様のおもてなしにおいて必要不可欠な存在であること、飛鳥里山クラブの委員数の拡大やイベント等の活動の活性化・多様化等が評価された。

第30回都市公園コンクール (一社)日本公園緑地協会会長賞 受賞作品の概要

管理運営部門

受賞作品： 楽しいネーミングによる
公園サポーターとの公園管理
公 園： 鎌倉中央公園
所 在 地： 神奈川県鎌倉市
受賞団体： 公益財団法人 鎌倉市公園協会



よりきめ細やかな公園管理を行うため、平成19年度から公園サポーター制度を発足させた。親しみのある楽しいネーミングと催しの積極的なPRにより、着実に参加者が増えたこと、活動内容も自主的な活動に転換され、技術も着実に向上しきめ細やかな公園管理が定着したことなどが評価された。

第30回都市公園コンクール 審査委員会特別賞 受賞作品の概要

管理運営部門

受賞作品： 横浜市の公園愛護会制度
対象公園： 市内2,638公園中2,351公園
所 在 地： 神奈川県横浜市
受賞団体： 横浜市環境創造局

横浜市における公園愛護会制度は50年を超える長い歴史を有し、現在では2,400を超える多くの団体が活動し、全公園の約9割で結成されるなど、身近な公園における市民参加の仕組みとして普及・定着している。愛護会による公園の美化や見守りがされることで、管理水準の高い維持管理がなされ、行政が直接コストをかけても作りえない地域交流拠点としての信頼や賑わいが創出できていることなどが高く評価された。

